

TOSHIBA

ワイレスリモコンキット 取扱説明書

形名

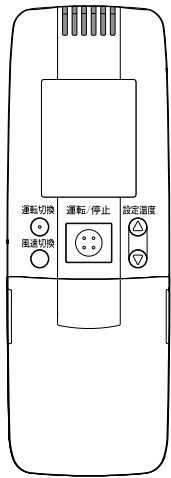
RBC-AX31U(W),(N),(K),(C),(WS)

組み合わせ

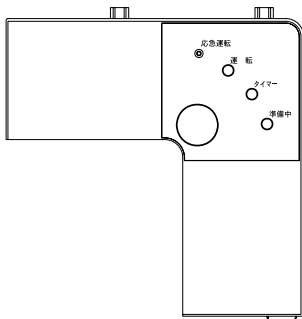
形 名（総称）	ワイレスリモコン + 受信部
RBC-AX31U(W) (N) (K) (C) (WS)	WH-G1J (ワイレス リモコン形名)

もくじ

安全上のご注意	2
各部のなまえとはたらき	
リモコン	4
受信部	5
運転のしかた	
冷暖自動、暖房、ドライ、冷房、送風 ...	6
タイマー運転のしかた	7
風向調節のしかた	8
オートグリルの操作方法	9
スライドスイッチについて	10
乾電池の入れかた	10
リモコンの取り扱いかた	11
上手な使いかた	11
アドレスについて	12
応急運転のしかた	13
修理をされる前に	14
仕様	15



ワイレス
リモコン
WH-G1J



受信部

上手に使って上手に節電

安全上のご注意

必ずお守りください

商品および取扱説明書にはお使いになるかたや他の人への危害と財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。次の内容（表示・図記号）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

表示の説明



警告

“取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷（＊１）を負うことが想定される内容”を示します。



注意

“取り扱いを誤った場合、使用者が傷害（＊２）を負うことが想定されるか、または物的損害（＊３）の発生が想定される内容”を示します。

- ＊１：重傷とは、失明やけが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。
 ＊２：傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが、やけど、感電などをさします。
 ＊３：物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害をさします。

図記号の説明



禁止

⊘は、禁止（してはいけないこと）を示します。具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示します。



指示

●は、指示する行為の強制（必ずすること）を示します。具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示します。



注意

△は、注意を示します。具体的な注意内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示します。

据え付け上の注意事項



警告



据え付けは販売店に依頼

ご自分で据え付けはしない
 据え付けは、お買いあげの販売店または専門業者に依頼してください。
 ご自分で据え付け工事をされ不備があると、感電や火災の原因になります。



当社指定のエアコンを

エアコンは当社指定の物を必ず、当社指定のエアコンを使用してください。
 また、取り付けは専門の業者に依頼してください。ご自分で取り付けをされ、不備があると、感電や火災、水漏れ等の原因になります。



注意



禁止

湿気・油分や振動の多いところには設置しない
 故障の原因になります。



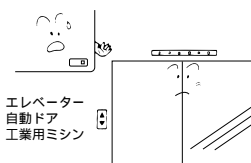
禁止

直射日光のあたるところや熱源の近くには設置しない
 故障の原因になります。



禁止

ノイズの発生するところには設置しない
 誤動作の原因になります。
 電子式瞬時点灯方式（ラビッドスタート方式）またはインバータ方式の蛍光灯がある部屋では信号を受け付けられない場合があります。詳しくはお買いあげの販売店にご相談ください。



使用上の注意事項



警告



禁止

ぬれた手でスイッチを操作しない
 感電や故障の原因になります。



禁止

制御装置をぬらさない
 制御装置をぬらさないようにご注意ください。
 感電や火災、故障等の原因になります。



手元電源スイッチを切る

異常時（こげ臭い等）は、運転を停止して手元電源スイッチを切る
 異常のまま運転を続けると感電や火災、故障等の原因になります。
 お買いあげの販売店にご相談ください。



注意



禁止

製品を落したり、強い衝撃を与えない
 故障の原因になります。



禁止

正しい容量のヒューズ以外は使用しない
 針金や銅線を使用すると、火災や故障の原因になることがあります。

移設・修理時の注意事項



警告



禁止

改修はしない
 改修は絶対にしないでください。
 また、修理は、お買いあげの販売店にご相談ください。
 修理に不備があると感電や火災等の原因になります。



販売店に相談する

移動再設置は、販売店に相談する
 制御装置を移動再設置する場合は、お買いあげの販売店または専門業者ににご相談ください。
 据え付けに不備があると感電や火災等の原因になります。

各部のなまえとはたらき

リモコン

(WH-G1J)

1台のリモコンで室内ユニット最大8台までグループ制御できます。

送信部

運転 / 停止ボタン

運転切換ボタン

風速切換ボタン

タイマー設定ボタン

フィルターボタン

リセットボタン

スライドスイッチ

乾電池収納部

カバー

リモコンセンサー

運転表示部

設定温度ボタン

スイング / 風向ボタン

アドレスボタン

換気ボタン

センサーボタン

センサーボタンでリモコン側に切り換えたときに、リモコンのまわりの温度を感知します。

運転状態を表示します。
(図は全部を表示した状態です。)

オートフラップ表示は設置ユニットによって異なります。 8ページ

設定温度ボタン
△ 設定温度を1 ずつ上げます。
▽ 設定温度を1 ずつ下げます。

スイング / 風向ボタン 8ページ

アドレスボタン 12ページ

換気ボタン
市販の換気扇等を接続したときに使用します。換気ボタンを押すと換気扇が運転、停止します。エアコンを運転、停止したときは、換気扇も同時に運転、停止します。(換気扇が運転中はリモコンの表示部に「換気」が表示されます。)
電池交換をしたときは換気ボタンを4秒以上押し続けると「換気」と表示され使えるようになります。

センサーボタン
リモコン側の温度センサーにするとときに使用します。出荷時は本体側の温度センサーになっています。この時表示部に「本体センサー」が表示されます。

設定温度

運転 / 停止

風速切換

運転切換

タイマー

設定

時間

セット

取消

フィルター

換気

スイング / 風向

アドレス

センサー

乾電池

リセット

別売の昇降グリル (オートグリル) 付天井パネルを接続したときに使用します。 9ページ

電池交換後やスライドスイッチを切り換えたときに使用します。 10ページ

両サイドを持って下にスライドします。

受信部

受信部

受信部は室内ユニット本体に取り付けてあります。
このページ以降では、リモコンのボタン名はすべて「ボタン」を省略して表示しています。 例：運転 / 停止ボタン

緊急運転ボタン

受信部

表示ランプ

運転ランプ (緑)

タイマーランプ (緑)

準備中ランプ (橙)

13ページ

リモコンから送信された信号を受信します。

異常発生中はいずれかが点滅します。
表示ランプが点滅したときは「修理を依頼される前に」の頁 (14ページ) をご覧ください。

運転中は点灯します。

タイマー予約中は点灯します。

暖房運転時、次のようなときに点灯します。
運転開始時、温度調節器がはたらいたとき、霜取運転中。
異常発生中は点滅します。

リモコン・親 / リモコン・子、スイッチ

試運転・入スイッチ

アドレススイッチ

通常「リモコン・親」でご使用ください。
ワイヤードリモコン (別売品) との併用も可能です。

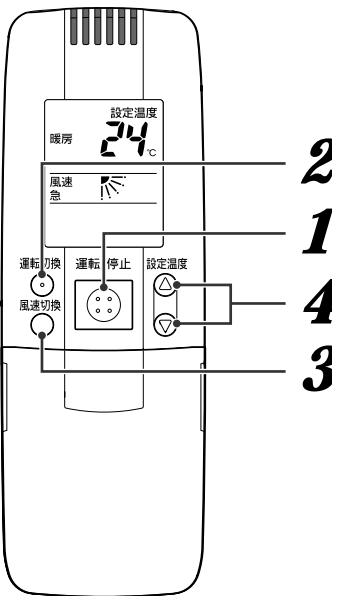
サービス時に使用します。
通常は使用しません。

送信、受信の信号を区別します。

ヒートポンプ形をお使いの場合 “ピッ・ピー” という音がして、表示ランプの運転ランプが点灯、タイマーランプと準備中ランプが交互に点滅していたら「冷暖不一致」ですので、希望するモードでの運転はできません。
(冷暖自動の機能がない機種で冷暖自動を選択しても同じ動作)
集中制御等で手元禁止の設定がされている場合、運転 / 停止・運転切換・温度設定ボタンを操作したとき、“ピッ” という音が5回して、変更を受け付けません。

運転のしかた

冷暖自動、暖房、ドライ、冷房、送風



暖房時、風速「弱」で運転して暖まりが良くない場合は風速を「急」・「強」に切り換えてみてください。
お使いの室内ユニットによっては表示はされますが機能がありません。（風速は一定です。）
通常の方法で停止できないとき
手元電源スイッチを切ってから、お買いあげの販売店へお知らせください。

冷暖自動について

同一冷媒系統内の全室内ユニットが1つのグループ制御になっているとき、設定温度と室温の差によって、暖房、冷房運転を自動的に行います。

冷房専用形は、冷暖自動、暖房運転ができません。

電源 手元電源スイッチを運転開始の12時間以上前に入れてください。

電源が入ったあと、約1分間はリモコン操作を受けつけませんが、故障ではありません。（一旦受信はしますが、受信内容が解除されます。）

1 運転/停止 を押します。

2 運転/停止 を押してお好みの運転モードを選ぶ
冷暖自動、暖房、ドライ、冷房、送風のいずれかにします。

3 風速切換 を押してお好みの風速を選ぶ
自動にすると、風速は自動的に切り換わります。（送風時は自動になりません。）

4 設定温度 を押してお好みの温度を選ぶ

おすすめの設定温度			送風時は温度設定ができません。
冷房	26～28		
暖房	22～24		
ドライ	室温より2～3 低め		

停止 運転/停止 を押します。

リモコンで停止した場合、室外ユニットの圧縮機が停止しても、室外ユニットファンは、しばらく運転する時があります。

セルフクリーン運転について

冷房（ドライ）運転（10分以上）後に運転を停止したときにエアコンの内部をきれいな状態に保つために自動的にセルフクリーン運転を行います。（詳しい説明は室内ユニット取扱説明書をご覧ください）
セルフクリーン運転を強制的に停止するときは 運転/停止 を2回続けて押してください。

タイマー運転のしかた

タイマー設定後リモコンは受信部（室内ユニット本体）に信号が届く位置に置いてください。（タイマー運転の信号はリモコンから送ります。）
使用例

運転表示中にタイマー設定を行ってください。

こんな時にお使いください	表示中
あらかじめ設定した時間後にエアコンを停止させたいとき	切タイマー 切
毎回、あらかじめ設定した時間後にエアコンを停止させたいとき	くり返し切タイマー くり返し切
あらかじめ設定した時間後にエアコンを運転させたいとき	入タイマー 入

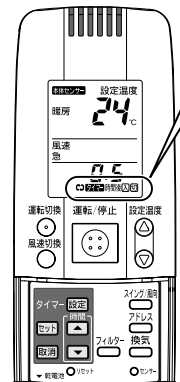
タイマー時間について

▲ を押すごとに設定時間を0.5時間（30分）ずつふやします。
上限は72.0時間です。
▼ を押すごとに設定時間を0.5時間（30分）ずつへらします。
下限は0.5時間です。

タイマーの表示について

タイマー 設定 を押すごとに次のように切り換ります。

表示なし ← 切 → くり返し切 → 入



切タイマー運転のしかた

（例）30分後に運転を停止させたいとき

1 タイマー 設定 を1回押すとリモコンに 切 と時間が点滅します。

2 時間 ▲ ▼ を押して時間を0.5に合わせます。

3 セット を押します。 切 と時間の点滅が止まります。

くり返し切タイマー運転のしかた

（例）毎回2時間30分後に運転を停止させたいとき

1 タイマー 設定 を2回押すとリモコンに くり返し切 と時間が点滅します。

2 時間 ▲ ▼ を押して時間を2.5に合わせます。

3 セット を押します。 くり返し切 と時間の点滅が止まります。
切タイマーがはたらき2.5時間後に運転

が停止します。再び、運転/停止 を押して運転すると、2.5時間後に運転が停止します。

入タイマー運転のしかた

（例）8時間後に運転をさせたいとき

1 タイマー 設定 を3回押すとリモコンに 入 と時間が点滅します。

2 時間 ▲ ▼ を押して時間を8.0に合わせます。

3 セット を押します。運転表示が消えて 入 と時間の点滅が止まります。

タイマー運転中止のしかた


取消 を押します。タイマー表示が消えます。

風向調節のしかた



停止時にはフラップが自動的に閉じた状態になります。

暖房準備時にはフラップが水平になります。また、スイングは暖房準備解除後に行いますが、リモコンのオートフラップ表示は暖房準備中でもスイング表示します。



風向きを設定するときは

運転中、を押すごとに風向きが変わります。

スイングさせるときは

を押し、フラップの向きを1番下
に設定し、もう1度 を押すことによりスイングが表示され、風向きが自動的に上下に切り換わります。

スイングを止めるときは


フラップのスイング中にもう1度 を押すことにより、フラップをお好みの位置で止めることができます。その後 を押すと再び風向きを1番上から設定できます。

冷房・ドライ時にはフラップは下向きでは止まりません。スイング中にフラップ下向きの状態で止めても、上から3番目の位置まで動いてから止まります。

本リモコンでは室内ユニット取扱説明書に記載のフラップの個別風向設定、セーブ運転の設定、スイングモードの変更はできません。

暖房時


フラップは下向きにしてください。水平にしますと温風が足元まで届かないことがあります。



初期設定


冷房・ドライ時

フラップは水平にしてください。下向きにしますと吹出口付近に露が付着したり、滴下することがあります。




初期設定

送風時




初期設定

すべての運転時




スイング
連続動作

スイングを止めたときの表示






送風・暖房時





冷房・ドライ時



オートグリルの操作方法 (オートグリルパネルが接続されている場合)

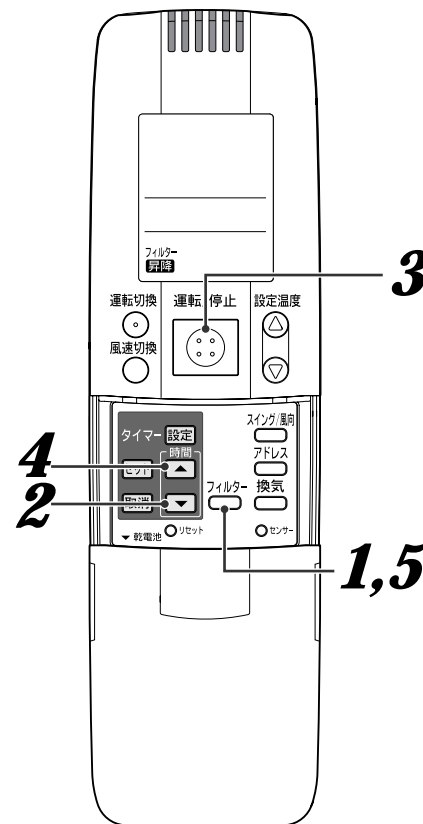
1  を4秒以上押し続けるとリモコンの表示部に  が点灯します。(室内ユニットの運転は停止します。)

2 下降させるとき
時間  を押すとオートグリルはゆっくりと降りてきます。障害物に当たったとき、オートグリルは停止します。

3 停止させるとき
運転/停止  を押すとオートグリルの下降、上昇が停止します。停止を押さないで下げていくと、自動的に停止します。
下降中または上昇中に他の操作を行うときは必ず、一度停止をしてから行ってください。

4 上昇させるとき
時間  を押すとオートグリルは上昇します。オートグリルが室内ユニットに、きちんと収まると数秒後にモーターが停止します。
モーターが停止したことを確認してください。

5  を4秒以上押し続けると表示が消えます。
オートグリルが動作中に  を押すとオートグリルは停止して、リモコンの表示が消えます。再度、オートグリルを動かしたいときは、**1**に戻ってください。

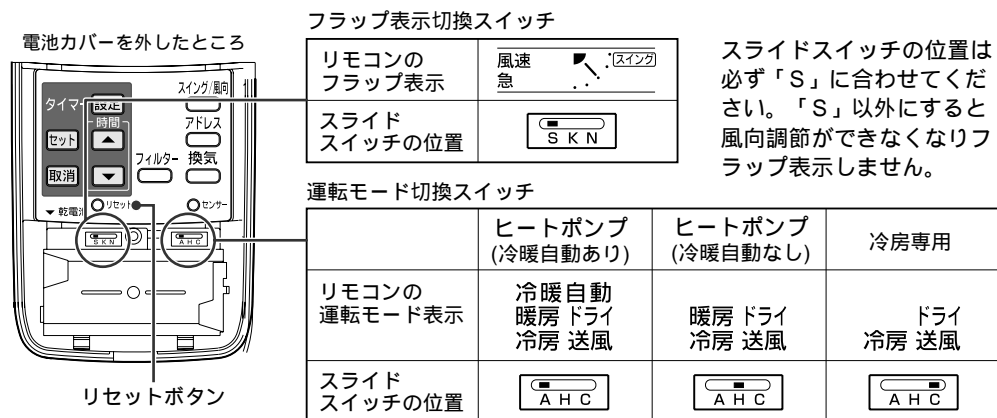


リモコンの送信部は操作を行いたい室内ユニットの受信部に向けてください。(到達距離3～4m)

ワイヤレスリモコンキットの受信部に向けて操作しても受けつけません。オートグリルの操作(下降・停止・上昇)を行うとき、操作ボタンを押してからオートグリルが下降・停止・上昇するまで数秒、時間がかかります。オートグリルパネルについての詳しい説明は、オートグリルパネルに付属されている取扱説明書をご覧ください。

スライドスイッチについて

お使いの室内ユニットによって運転表示と風向表示の設定が下記のように異なります。
スイッチは先の細いもので切り換えてください。
スイッチを切り換えたときはリセットボタンを押してください。

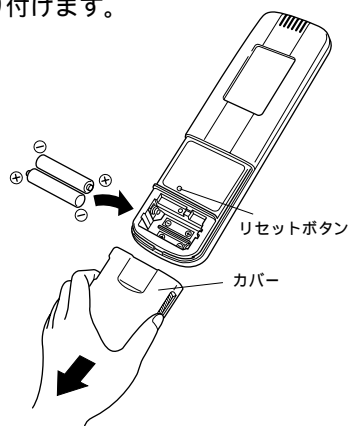


ご使用になる前にスライドスイッチが上図の位置になっていることを確認してください。
スライドスイッチの合わせかたについて詳しくはお買いあめの販売店にお問い合わせください。

乾電池の入れかた

カバーの両側を持ち、下にずらしてはずします。
単4形アルカリ乾電池を2本入れます。+ - 極を正しく、表示にしたがって入れます。
先の細いもので ●リセット を押してからカバーを取り付けます。

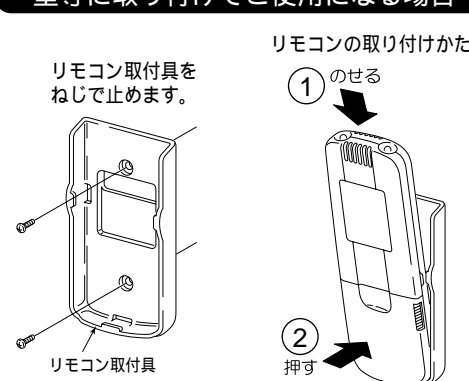
リモコンの表示部がうすくなったときや受信部に近づかないと送信できない場合は、乾電池を交換してください。(アルカリ乾電池の交換は約1年が目です。)
乾電池の取り換えは2本とも新しい同種のものをお使いください。
リモコンを長時間ご使用にならないときには、乾電池を取り出しておいてください。
ご使用後の乾電池は指定の場所に捨ててください。



リモコンの取り扱いかた

リモコンの送信部は、受信部(室内ユニット本体)に向けてください。正常に受信されると“ピッ”と1回音がします。(運転開始時のみ“ピッピッ”と2回音がします。)
受信できる距離は、約7mです。この距離は目です。乾電池の容量等により、若干前後します。(昇降グリル動作の受信できる距離は3～4mです)
受信部(室内ユニット本体)との間に信号をさえぎるものがないようにしてください。
直射日光やエアコン本体からの風が直接当たる場所、ストーブの近く等に置かないでください。
落としたり、なげたり、水洗い等しないでください。
電子式瞬時点灯方式(ラピッドスタート方式) またはインバータ方式の蛍光灯がある部屋では信号を受け付けられない場合があります。詳しくはお買いあめの販売店にご連絡ください。

壁等に取り付けてご使用になる場合



壁に取り付ける位置で ● を押し、正常に受信されることをご確認ください。
リモコンを取り出す場合は手前に引いてはずします。

上手な使いかた


リモコンと受信部(室内ユニット本体)は離れすぎない誤動作の原因になります。
リモコンと受信部(室内ユニット本体)は必ず同じ部屋に置いてください。
リモコン操作は受信部(室内ユニット本体)に向ける正常に受信すると“ピッ”と音がします。
カーテン等でリモコンがおおわれるところは避ける取り出しておいてください。

アドレスについて

同じ部屋にワイヤレスリモコン対応の室内ユニットが複数台設置されているときに混信を防ぐためにアドレスを設定することができます。


受信部のアドレススイッチとリモコンのアドレスの数字を合わせることで6台までの室内ユニットをおののに対応するリモコンで個別に制御することができます。受信部（パネル又は室内ユニット内部）には受信用、リモコンには送信用のアドレススイッチがあります。詳しくはお買いあげの販売店にご相談ください。


アドレスの確認方法


リモコンの  を押すと、リモコンの表示部に現在のアドレスを表示します。このアドレスが受信部（パネル又は室内ユニット内部）のアドレスと一致していればブザーが鳴ります。（ALLになっていれば必ずブザーが鳴ります。）



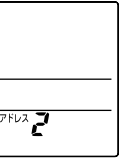

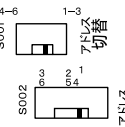
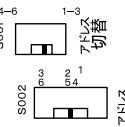
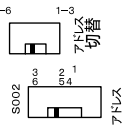
ALLになっていれば、受信部（パネル又は室内ユニット内部）のアドレスに関わらずに操作できます。操作したい受信部（パネル又は室内ユニット内部）にリモコンを向けて送信してください。

アドレスの合わせかた リモコンのアドレス設定


 を4秒以上押し続けると、リモコン表示部に「アドレス」が点灯し、現在のアドレスが点滅表示されます。

 を押すごとにALL 1 2 3... 6 ALLと切り換わります。操作したい室内ユニットの受信部アドレススイッチに合わせてください。

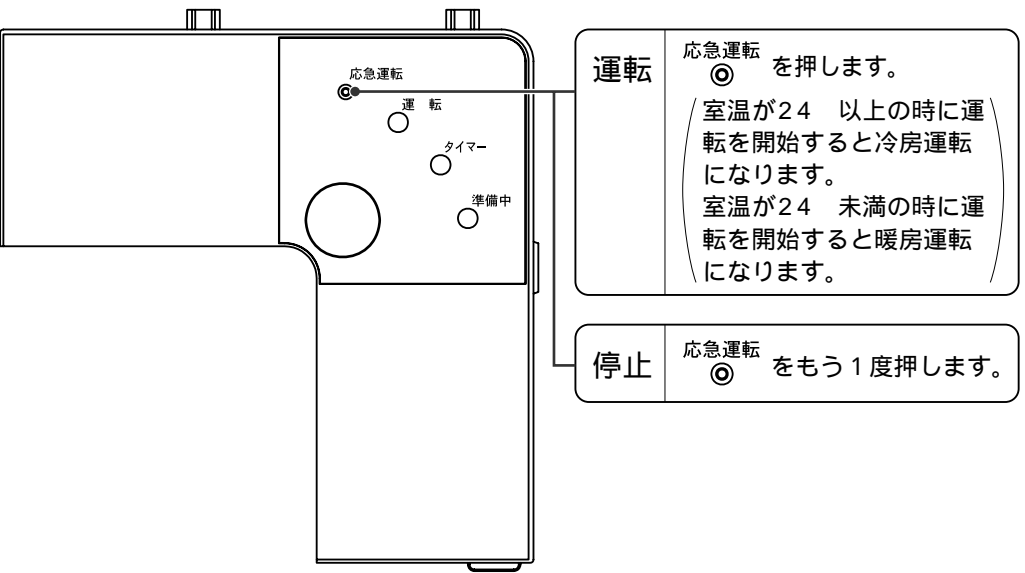
 を押すと、アドレス表示が点灯に変わり、5秒間アドレスを表示します。受信部のアドレススイッチと一致していればブザーが鳴ります。

リモコンの アドレス表示 （リモコンの アドレス ボタンの位置に ついては 4ページ）				
受信部 （パネル又は室 内ユニット内部） のアドレス スイッチの位置	受信部のアド レススイッチ はどこでもよ い			
S001はアドレスが1、2、3のときは右側に、4、5、6のときは左側にしてください。 S002はアドレスが1、4のときは右側に、2、5のときは中央に、3、6のときは左側にしてください。					

応急運転のしかた

次のようなとき、受信部（パネル又は室内ユニット内部）の  を使って応急的に運転してください。

- リモコンの乾電池の容量がなくなった。
- リモコンが故障した。
- リモコンを紛失した。


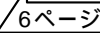
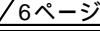
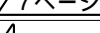

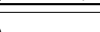
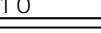























お願い

受信部の基板にある試運転・入スイッチは据え付け時の試運転の際に使用するものです。通常は使用しないでください。


修理を依頼される前に

修理を依頼される前に、
次のことをお調べください。

もう一度お調べください	症 状	原 因	処 置
	スイッチを入れても 運転しない	停止中？または停電後？	再度、リモコンの ^{運転/停止}  を押す。  6ページ
		手元電源スイッチは？	切れていたら入れる。  6ページ
		入タイマー運転になっていませんか？	タイマー運転を取り消す。  7ページ
		リモコンの乾電池が消耗していませんか？	乾電池を交換する。  10ページ
		表示ランプが冷暖不一致または冷暖自動なしの状態になっていませんか？	運転モードを変更してください。  5ページ
	冷房専用形なのに、表示部に冷暖自動または暖房が表示される。		リモコンのスライドスイッチの設定を変更してください。  10ページ

症 状				原 因
表示ランプ が点滅する		タイマー 	準備中 	受信部と室内ユニットとの通信異常です。 または、ワイヤードリモコン使用時のアドレス設定異常です。
		タイマー 	準備中 	室内ユニットと室外機との通信異常です。
	運転 	タイマー 	準備中 	室内ユニットの保護装置が動作しています。
	運転 	タイマー 	準備中 	室外機の保護装置が動作しています。
	運転 	タイマー 	準備中 	温度センサーが異常です。
	運転 	タイマー 	準備中 	室外機の圧縮機を保護しています。
	運転 	タイマー 	準備中 	試運転中です。試運転スイッチをOFFにしてください。

お買い上げの販売店にご連絡ください

受信部の表示ランプ：消灯 ：点滅（0.5秒間隔）

表示ランプの色 運転：緑 タイマー：緑 準備中：橙

以上のことをお調べいただき、それでもなお異常のあるときは運転を停止してから手元電源スイッチを切り、お買いあげの販売店に形名と症状をご連絡ください。なおご自分での修理は、危険ですから絶対にしないでください。また、表示ランプが点滅したときは、その内容もご連絡ください。

仕様

ワイヤレスリモコン	(高さ)177x(幅)61x(奥行)20mm
受信部	(縦)172x(横)165x(奥行)25mm
電源	DC16V(室内ユニットのリモコン端子板より供給)
付属品	ワイヤレスリモコンキット取扱説明書、取付説明書 リモコン取付具、ネジ

お客さまメモ

お買いあげの際に記入しておきますと、修理などを依頼される時便利です。

品番	
据付年月日	年月日
お買いあげ販売店名	電話番号 ()

東芝キャリア株式会社

〒416-8521 静岡県富士市蓼原336番地

EH78981701